

平成29年度 第7回 大学運営連絡会議事要旨

- 日 時 平成29年11月14日(火) 10時28分～11時52分
- 場 所 大学本部2階大会議室
- 出席者 学長，後藤理事，兒玉理事，寺本理事，和田理事，佐々木監事，早瀬副学長・全学教育機構長，田中教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，原医学部長，渡工学系研究科長，有馬農学部長，山下附属病院長，米山附属図書館長，宮武地域学歴史文化研究センター長
- 欠席者 なし
- 陪席者 北村監事，山下学長補佐，倉岡学長補佐，豊田学長補佐，穴井学長補佐，宮脇学長補佐，只木学長補佐，小林学長補佐，吉永学長補佐，永田海洋エネルギー研究センター長，速水低平地沿岸海域研究センター副センター長，郭シンクロトン光応用研究センター長，西郡IR室長

【 報告・連絡事項 】

(1) 教育研究院，学域・学系の運営体制及び教員選考の在り方について

企画評価課長から，本件について，教員がより柔軟で横断的な教育研究活動が行えるよう，また，全学的に教員の人事を一元化し，限られた資源を有効活用するため，教員組織編制の検討を行ってきたものであり，平成30年4月からの実施に向け，平成29年度は各担当において運用方法など，より詳細な設計を行うこととしている旨，また，平成30年1月から規則等の作成・変更及び実施に向けた準備を行うため，今年中の役員会等で審議決定いただきたい旨の説明があった。

また，新たな教員組織である教育研究院の組織体制，会議及び所属等について，学域・学系等長及び教員採用の選考等についての説明，及び現段階で教育研究院の設置等を理由に改正が必要と思われる学内規則等の数が相当数であるため，了承後速やかに作業を進める旨の説明があった。

工学系研究科長から，学部長と学系長の違い，教授会の運営，学部における運営についての確認があり，後藤理事から，教授会を運営するのは学部長である旨，学系長は，所属学系の全教員をまとめていただく旨，学部の中の各種会議を学系に移し，会議を増やさないようにする旨の発言があった。

経済学部長から，公募書類の提出先，研究科における兼務，現在ある委員会について確認があり，後藤理事から，公募書類は学系長宛て提出してもらい，第1次選考委員は学域長となる旨，研究科の兼務の配置については，教育企画戦略室及び総合研究戦略室で決めていただく旨，現在ある委員会については，文系学部は理系学部に比して委員会の数が多いので，この際整理す

るか、従前の委員会を踏襲するか各学部で決めていただきたい旨、学系・学域については全学で統一したものにした旨の説明があった。

医学部長から、看護学科は医学系、医療系のどちらに所属になるのかについて確認があり、後藤理事から、医学系である旨の発言があった。

芸術地域デザイン学部長から、教員の学系の配置の決定時期の確認があり、後藤理事から、12月中には確定したい旨の発言があった。

(2) 国立大学改革強化推進補助金（総合支援型）事業に関する協力について

I R室長から、本件の今後の取組について、「研究室訪問記」コンテンツは、研究活動データベースへ統合して管理し、情報の一元管理化、教員自身によるリアルタイム発信を目指し、また、各教員にて積極的に自己PR等の入力をしていただく旨、来年1月までに「研究室訪問記」のリライトを実施するため、該当する教員へは別途連絡のうえ、内容チェック等をご協力いただく旨の説明があった。

施設マネジメントシステム（仮称）の構築について、学内の空きスペース・講義室等の活用状況を系統的に管理し、空き情報に関して学外に発信し、積極的な活用を促す仕組みである旨、問い合わせ等の対応を各部局に依頼した場合はご協力いただきたい旨の説明があった。

(3) 年頭挨拶における各理事室からの課題提出及び各学部長からの説明について

総務課長から、本件について、各理事室は、平成30年中に重点的に取り組む課題等を12月8日（金）までに総務課あて提出していただきたいこと、また、各学部長、全学教育機構長及び附属病院長は、平成30年中に重点的に取り組む課題等をパワーポイント資料にとりまとめ、12月15日（金）までに総務課あて提出していただき、平成30年1月4日（水）の年頭挨拶で説明していただきたい旨の依頼があった。

(4) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告

各学部等から報告があった。

(2) その他

特になし。

【 その他 】

特になし。

以 上